

<デフジャパンと横手高校の集合写真>



<デフジャパンと横手市の皆さんとの集合写真>

<横手市民の方の応援写真>

② 2日目の合宿を通して選手の学び・成長

大戸アシスタントコーチのメニューでは、ドリブルとフットワークの連動を意識したドリルから始まりました。最後には選手をグループに分けてシューティング競争を行い、負けたチームにはペナルティを実施するなど、競争意識を持ちながら取り組むことができました。一部の選手からは「以前より全員が積極的にコミュニケーションを取ろうとしている」との声もあり、チームの雰囲気にも良い変化が見られました。合宿の機会が限られる中、7月の新潟合宿までにさらに工夫を重ね、連携を深めていきたいと考えています。



<シューティング後の罰ゲームを受けた選手の腕立ての様子>

4. 総括

秋田県横手市合宿は、東京 2025 デフリンピックに向けた日本代表強化合宿として、実戦と交流を重ねる中で、選手・スタッフが一丸となって取り組む充実した機会となりました。特に、複数の試合を通じて浮かび上がった戦術的課題の整理や、メンバー間の相互理解を深めることができたことで、チームとしての成熟度が一段階向上したことを実感しています。次回 7 月の新潟合宿では、世界と戦うために必要な技術・戦術の精度をさらに高め、チームとしての進化を続けてまいります。最後に、素晴らしい会場を提供くださった横手市の皆さまをはじめ、関係者や応援してくださる全ての方々に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。